

『神の子の祈り、良心を集めて』

吉田真司

イザヤは言う。「その王国に権威は増し、平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって、今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」(イザヤ9:6)

待降節は「待つ」時です。でもそれはただ待つのではなく、希望をもって待つのです。先週の水曜祈り会でこう申しました。「希望とは、既にあるものではなく、未だ実現していないものを待つこと。しかしそれは実現しようのないものに期待を掛けるのではなくて、人間が思うところの現実の限界を必ずや打ち破って実現して下さる神を心から信頼して待つことです」と。強者が力づくで「見せかけの平和」を形づくろうとし、それによってますます弱者の生命の危機が深刻となる今日の世界情勢に対し、私たちは全く対極の平和を待ち望みます。強者が弱者に対して憐れみを持つところ、その傲慢が砕かれ、小さきものを守っていくところ、その「共生」が生まれる世界です。言葉で言うのは易しですが、その待ち望みの希望、祈りを断念せずにいたいと思います。

先週12月4日は故中村哲さんの4回目の命日でした。その日に、私は中村さんの次なる言葉を読み返して過ごしました。中村さんは言われます。「われわれの歩みが人々と共にある『氷河の流れ』であることを、あえて願うものである。その歩みは静止しているかの如くのろいが、満身に冰雪を蓄え固めて、巨大な山々を確実に削り降ろしていく膨大なエネルギーの塊である。我々はあらゆる立場を超えて存在する人間の良心を集めて氷河となし、騒々しく現れては地表に消える小川を尻目に、確実に困難を打ち砕き、かつ何かを築いていく者でありたいと、心底願っている。」(『氷河の流れのように』) ——今はなき中村哲さんの志を心に刻み、信仰と良心を結集させながら、そしてその方向へと私たちの生き方を向けて歩んで行きたいと思います。 ——「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」(マタイ5:9)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>